



市からのお知らせをメールで配信しています。右記 QR コードを読み込むか、我孫子市携帯サイト (<http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/>) へアクセスしてください。パソコンからは、市ホームページ内「メール配信サービス」をご覧ください。



アプリ「マチイロ」で広報あびこが閲覧できます。アプリは左記 QR コードからダウンロードできます。

我孫子市市制施行50周年記念

青木功さん・上橋菜穂子さんを 名誉市民に決定

名誉市民…広く社会文化の発展に功績があった市ゆかりの方に、その功績を称え、市民の郷土愛を高めるために贈る称号です。



青木 功さん
(プロゴルファー)

photograph by Taku Miyamoto



上橋 菜穂子さん
(作家)

写真：小池 博

名誉市民の 決定を受けて

大好きな我孫子市の名誉市民に選んでいただき、本当に光栄でございます。どうもありがとうございます。川村学園女子大学で教職に就き、我孫子に移り住んだとき、こ

こはなんと明るい土地なのだろう、と驚きました。様々な鳥が歌い、蛙の大合唱が聞こえる明るい我孫子で、私は、大学で教えながら、いくつもの物語を書くことができました。

『獣の奏者』や『鹿の王』を書いていた頃、物語が滞ると、手賀沼の遊歩道を歩いて、水辺の静かな明るさに力をもらっていたものです。

我孫子には、物語を育む力があるような気がします。これからも、この地から多くの物語が生まれであることを願っております。



名誉市民の決定を受けて

我孫子市名誉市民の称号を頂き身に余る光栄に思います。我孫子で生まれ育ち先に逝きました両親もさぞ喜んでいただろうと思います。我孫子市民として恥じない人生をこれからも生きて行きたいと思えます。この度は誠にありがとうございます。



プロフィール

1942年8月31日我孫子町生まれ。我孫子第二小学校、我孫子中学校卒業。1964年プロテスト合格。2004年世界ゴルフ殿堂入り。2008年紫綬褒章受章。2013年日本プロゴルフ殿堂入り。2015年旭日小綬章受章。2016年(一社)日本ゴルフツアー機構会長就任。

社会貢献活動としてチャリティーゴルフ大会を開催し、がん・白血病の子どもたちや東日本大震災で被災した子どもたちなどへ寄付している。熊本地震や九州北部豪雨の被災地への復興支援などにも積極的に取り組んでいる。

市とのかかわり

1983年に市民文化スポーツ栄誉章を受章。2017年には市ふるさと大使に就任。母校の我孫子第二小学校への寄付や我孫子中学校で講演などを行う。ふるさと大使就任時には、我孫子ゴルフ倶楽部で開催された「日本女子オープンゴルフ選手権」を記念し、市民プラザでトークショーを開催。パターの打ち方などを来場者と一緒にプレーし、会場を大きく沸かせた。



今年で90周年 我孫子ゴルフ倶楽部 ～青木功さんがプロ入り前に腕を磨いたゴルフ人生の出発地～

林由郎プロをはじめ、多くのプロを輩出した県内最古のゴルフ倶楽部。今年1月、同倶楽部に所属している海老原清治プロが我孫子市出身プロとして林プロ、青木プロに次いで、3人目の日本ゴルフ殿堂入りを果たした。



プロフィール

1962年7月15日東京都生まれ。立教大学文学部史学科卒業後、1993年同大学院博士課程単位取得(文学博士)。専門は文化人類学。現在は川村学園女子大学特任教授。1989年『精霊の木』で作家デビュー。主な著書に『精霊の守り人』をはじめとする「守り人」シリーズ、『狐笛のかなた』『獣の奏者』『鹿の王』などがある。「守り人」シリーズでは路傍の石文学賞、巖谷小波文芸賞、野間児童文芸賞など多数受賞。英語版ではアメリカ図書館協会バachelダール賞も受賞している。『狐笛のかなた』では野間児童文芸賞受賞。『鹿の王』では本屋大賞、日本医療小説大賞を受賞。2014年には国際アンデルセン賞作家賞を受賞し、2020年『獣の奏者』の英語版で、プリンツ賞オーナーとバachelダール賞オーナーをW受賞。プリンツ賞オーナーの受賞は日本人作家としては初となる。

市とのかかわり

2014年に市民文化スポーツ栄誉章を受章。本市在住時には、さまざまな作品が生まれ、その巻末には「我孫子にて」と結ばれている。我孫子第一小学校では、子どもたちが上橋菜穂子さんを通して、文学や郷土を学ぶ授業が行われている。